

C-14 洗濯に関する研究 (第4報)

化繊 (ナイロン) の洗浄法と人工汚染糸 洗浄試験法

愛知学芸大学 平尾 あや

化繊布の使用は一般化し、ナイロンの使用度は大である。洗濯に関する主な疑問、(1) ナイロンに適する洗剤 (2) 黄色化の原因、(3) 収縮如何を取上げ実験を行った。洗濯に関する研究として、第一・二報に羊毛洗浄法を述べ、第三報に天然の木綿汚染布を用いて洗い方及び損傷を報告した。今回は化繊の洗浄について、ナイロン糸を羊毛糸と比較状態において洗浄並に洗浄に関係する問題 (黄色化・収縮) を併せ実験した。洗浄実験は (1) 洗剤の種類、(2) 洗剤濃度、(3) 汚染糸の経日の変化の三元配置の実験計画をたて、ピーカー洗・実際洗・洗浄試験機洗の三種洗法で、各々繰返し二回の実験により推計学的考察をした。結果は、ナイロンの黄色化の原因は水温・アルカリ・日光であり、収縮には水温・アルカリ・操作が影響し、洗剤はアルコール系・混合系が望ましい。汚れを除く目的ならば油脂系もよく、外国品は国産品に勝り特長も目立つ。人工汚染糸洗浄試験法は牛脂汚染の羊毛の場合、洗剤及濃度に高度の有意差を認め得て、肉眼にうったえて理解を深め得る。